

マイクロチップ、高いセキュリティと低消費電力を両立する通信チャンネルとして 世界で初めて人体を利用した BodyCom™ テクノロジを発表

*幅広い無線アプリケーションとセキュアに接続できる低データレートの
近距離通信ソリューションを実現するフレームワークを提供*

2013 年 2 月 27 日[NASDAQ: MCHP] – マイクロコントローラ、ミックスドシグナル、アナログ、Flash-IP ソリューションのトッププロバイダであるマイクロチップ テクノロジー社(日本支社: 東京都港区浜松町、代表: 吉田洋介 以下マイクロチップ社)は本日、セキュアな通信チャンネルとして人体を利用する世界初のフレームワーク、[BodyCom™ テクノロジ](#)を発表しました。既存の無線ソリューションに比べ、BodyCom テクノロジは消費電力が少ない上、双方向認証によりセキュリティも向上しています。BodyCom テクノロジは RF アンテナを必要としないため、回路レベルの設計が簡単で部品コストも削減できます。これら全ての利点を実現して頂くため、900 種類を超えるマイクロチップ社の 8/16/32 ビット PIC® マイクロコントローラ全製品で利用可能な BodyCom 開発フレームワーク V1.0 を、無償のソフトウェア ライブラリとしてご提供します。

紹介ビデオはこちらでご覧頂けます: <http://www.microchip.com/get/9TMM>

概要のプレゼンテーションはこちらでご覧頂けます: <http://www.microchip.com/get/G3E2>

BodyCom テクノロジは、人体との静電容量結合によってアクティブになります。次に、中央のコントローラと無線ユニットが双方向通信を開始します。現在、幅広いアプリケーションでセキュアな無線通信が要求されていますが、人体ほどセキュアなチャンネルはありません。特に、KeeLoq® テクノロジや AES 等、先進の暗号化をサポートする双方向認証と組み合わせると、きわめて高いセキュリティが実現します。例えば、車載パッシブ キーレスエントリ セキュリティ システムでしばしば問題になる「中継攻撃」も BodyCom テクノロジなら防ぐ事ができます。

最もセキュアな近距離通信機器は多くの場合バッテリー駆動型で、厳しいコスト制約が課されています。BodyCom テクノロジは無線トランシーバまたは高出力の誘導電界が不要なため、バッテリー寿命が大幅に延びます。また、アンテナ設計が不要なだけでなく、一般的なマイクロコントローラと標準的な AFE の周波数(125 kHz と 8 MHz)に対応した低周波数フレームワークを使う事で外付け水晶振動子も不要なため、部品コストを抑えた簡単な開発が可能です。さらに、BodyCom テ

クノロジは電磁放射の低減に関する FCC Part 15-B にも適合しており、認証にかかるコストと手間を省く事ができます。

その他のアプリケーション例としては、入出管理(防犯システム、家庭用/産業用ドアロック、ペットゲート)、個人向けセキュリティ/安全装置(機器へのアクセス/無効化、電動工具、銃器、コンピュータ システム)、医療(患者モニタリング、病室の入退室管理、機器追跡)、コンシューマ (ゲーム機およびフィットネス機器のプロファイル管理)があります。

「BodyCom テクノロジは高いセキュリティと低コストを実現し、消費電力を最小限に抑えた低データレートの近距離無線通信を容易に実装できます」とマイクロチップ社の MCU8 部門担当副社長 Steve Drehabl は述べています。「BodyCom 開発フレームワークは無償でダウンロードでき、マイクロチップ社の全ての PIC マイクロコントローラに対応するため、容易に設計を始められます。」

開発サポート

すぐに開発を始めて迅速な市場投入を図って頂けるよう、マイクロチップ社は [BodyCom 開発キット](#)(製品番号: DM160213)もご用意いたしました。中央コントローラ ユニット 1 個と無線モバイルユニット 2 個を同梱したこのキットは、本日より販売を開始いたします。

また、無償の BodyCom 開発フレームワーク V1.0、通信ライブラリ、アプリケーション サンプルコード、PC 用の開発 GUI も本日より提供を開始いたします。BodyCom テクノロジの概要をまとめたアプリケーション ノート AN1391 は <http://www.microchip.com/get/GA5E> でご覧頂けます。

詳細は、マイクロチップ社または正規販売代理店にお問い合わせ頂くか、マイクロチップ社のウェブサイト(<http://www.microchip.com/get/GA5E>)をご覧ください。本プレスリリースに記載された製品をご購入頂くには、[microchipDIRECT](#) のウェブサイトアクセスするか、マイクロチップ社の正規販売代理店にご連絡ください。

リソース

高画質の写真は報道関係専用窓口までお問い合わせ頂くか、Flickr でご覧ください(掲載に許可は不要です)。

- 写真: <http://www.microchip.com/get/9TP0>
- ブロック図: <http://www.microchip.com/get/59BR>

- ツール: <http://www.microchip.com/get/VX2M>

ビデオは YouTube でご覧頂くか、報道関係専用窓口までお問い合わせください(掲載に許可は不要です)。
<http://www.microchip.com/get/9TMM>

マイクロチップ社の最新情報をぜひフォローしてください。

- マイクロチップ社製品ニュースの RSS フィード: <http://www.microchip.com/get/P2EQ>
- Twitter: <http://www.microchip.com/get/445D>
- Facebook: <http://www.microchip.com/get/965T>
- YouTube: <http://www.microchip.com/get/KUEL>

マイクロチップ テクノロジー社について

マイクロチップ テクノロジー社(NASDAQ:MCHP)は、マイクロコントローラ、ミックスドシグナル、アナログ、Flash-IP ソリューションのトッププロバイダであり、全世界で数千を超える各種アプリケーションにおいて、低リスクの製品開発、総システムコストの削減、迅速な商品化の実現に貢献しています。マイクロチップ社は本社をアリゾナ州チャンドラーに構え、優れた技術サポート、確かな納期、高い品質を提供しています。詳細については、マイクロチップ社のウェブサイト(<http://www.microchip.com/get/DF06>)をご覧ください。

###

Note: マイクロチップ社の名称とロゴ、PIC、KeeLoq は、アメリカ合衆国および他の国におけるマイクロチップ テクノロジー社の登録商標です。
BodyCom は、アメリカ合衆国および他の国におけるマイクロチップ テクノロジー社の商標です。その他本書に記載されている商標は、各社に帰属します。

タグキーワード: [BodyCom](#)、[組み込みセキュリティ](#)、[パッシブ キーレスエントリ](#)、[セキュアな通信](#)、[セキュアな入出管理](#)、[認証](#)

詳細については、以下にお問い合わせください。
Daphne Yuen (マイクロチップ社): (852) 2943 5115
(メール: daphne.yuen@microchip.com)

山神、高田 (共同 PR): (03) 3571 5236
(メール: k-yamagami@kyodo-pr.co.jp)

報道関係者の方へ: このニュースリリースのメールによる配信については、共同 PR 株式会社 山神もしくは高田まで電話(03) 3571 5236 またはメール k-yamagami@kyodo-pr.co.jp でお問い合わせください。